

「定量的言語分析実践」

研究会B（2） 選抜課題

HP やシラバスにある注意事項を熟読したうえで、次の全ての点について、四角の欄に回答を書き、PDF ファイルに変換した後、シラバスにある提出先にファイルをアップロードしてください。

なお、回答欄の大きさは、適宜変更してもらって構いません。

1. 氏名、学年、学籍番号を教えてください。

氏名：

学年：

学籍番号：

2. 履修した言語学の授業を教えてください（○をつけるか、該当しないものを削除）

（★理論言語学実践で回答済みの人は省略可）

☐ 理論言語学入門： 履修済み（成績： ）・今学期履修予定・履修なし
（統語論）

☐ 理論言語学入門： 履修済み（成績： ）・今学期履修予定・履修なし
（意味論・語用論）

※過去の授業の履修は、原則必須の項目ですが、意欲のある学生や、授業に代わる有意義な経験、体験を持っている学生は、例外的に受講を認めることがあります。

3. 上記以外で履修したことのある言語学（関連）の授業を教えてください（足りなければ表を増やしてください）。他キャンパスの授業も可。

（★理論言語学実践で回答済みの人は省略可）

授業名	担当教員	成績	年度・学期

4. 履修した統計学／データサイエンスの授業を教えてください（足りなければ表を増やしてください）。他キャンパスの授業も可。

授業名	担当教員	成績	年度・学期

※過去の授業の履修は、原則必須の項目ですが、意欲のある学生や、授業に代わる有意義な経験、体験を持っている学生は、例外的に受講を認めることがあります。

A 研究会の「やりたいこと」とみなさんの興味とのマッチングを測る質問

次の資料を手元においてください。

https://10ce1f2d-8bde-4d78-bbec-37b79e4baa7d.filesusr.com/ugd/91fefc_6bc9d1acc0bf4630979b89495eb82da3.pdf

そのうえで、次のビデオを視聴してください。

1-1 節 母集団への仮定（1）：ベルヌーイ分布

<https://www.youtube.com/watch?v=gHUiNn1TGGM&feature=youtu.be>

1-1 節 母集団への仮定（2）：二項分布・カテゴリカル分布・多項分布

<https://www.youtube.com/watch?v=uh6Pda3vNeI&feature=youtu.be>

1-1 節 母集団への仮定（3）：正規分布・ポワソン分布・ χ 二乗分布

<https://www.youtube.com/watch?v=oio8eAVJSTk>

5. 上記資料／ビデオを視聴し、疑問に思ったこと、ディスカッションしたいことを下記に記してください。

B みなさんの「やりたいこと」と研究会のマッチングを測る質問

6. 現時点でのキャリアプランを教えてください（例：将来どのような職業についていたいか、大学院に進みたいか、人生で一番かなえたいことなど）

（★理論言語学実践で回答済みの人は省略可）

7. このSFCの環境で、どのようなプロジェクト（例：卒プロ）に取り組んでいきたいと考えていますか（あるいは、取り組んでいますか）。

（★理論言語学実践で回答済みの人は省略可）

8. この研究会に入ることを志した理由や期待、身につけたい技術は何ですか。具体的に説明してください。

9. この研究会に、どのくらいの熱量で参加したいと思いますか。

※例えば、他の研究会に入れなかったのということであれば、正直に、その旨を書

いてほしいですし、また、〇〇ということをやりたいので、絶対に入りたいということであれば、そのように書いてください。

--

10. これまで参加してきた研究会をすべて挙げてください。

(★理論言語学実践で回答済みの人は省略可)

研究会名称	担当教員	成績	年度・学期

11. この研究会以外に、今学期に入る予定の研究会をすべて教えてください（聴講を含む）。

(★理論言語学実践で回答済みの人は省略可)

授業名	担当教員

C 研究会の運営方針とのマッチングを測る質問

12. この研究会では、以下のような活動があります。これらについて、抵抗感や不安な点がありますか？

(ア) **反転学習**：授業の予習として、[A]で見たようなオンライン動画を視聴し、統計の基礎を習った（ないしは、復習した）後で、対面の場で、その時に生じた疑問について Q/A 形式で教員に尋ねて理解を深めるという活動があります。

⇒ 毎週、2 時間ほど、コツコツと統計の勉強が必要です。

(イ) **グループディスカッション**：グループを組んで、ビデオの内容について話し合ったり、学びを深めてもらいます。

⇒ 毎週、様々な研究会のメンバーとランダムにグループを組み、率直な意見交換をする場面があります。

(ウ) **統計演習**：プログラミング言語（R か Python）を用いて、ハンズオンで学んだ

知識を実際の言語データの解析実践につなげます。

⇒ 実際にコードを書いたり、与えられたコードを実行する場面があります。

(エ) アノテーション：自分たちの言語データを地道に実際にアノテーションしてコーパス作成の裏側を体験します。

⇒ ともかく地道な作業があります。

13. 本研究会では、様々な背景の学生が話しやすく、気持ちよく過ごせる心理的に安全な場を作ること、そして、個人研究の深化はもちろん、グループワークを通じた「全体からの学び」を重視しています。

教員である私も、皆さんが安心・安全に、そして気持ちよく学びを深められるよう環境づくりに全力を尽くしますが、同時に、これには、学生の皆さんの協力も不可欠です。参加者の皆様一人一人には、お互いをリスペクトし、主体的に、そして協調的に研究会へコミットすることを期待します。

なお、充実した学習環境を維持し、研究会の健全な運営を守るため、共同学習の場を維持することが困難と判断される場合（過去の履修状況や研究活動への取り組み状況などを含む）には、履修を認めないことがあります。ご同意いただけますか（該当する方に○をつけてください）。

同意する・同意しかねる

14. あなたは、自分自身の長所、短所をどのように捉えていますか。具体的なエピソードをそれぞれ添えて、分かりやすく説明してください。（A4一枚以内）

（★理論言語学実践で回答済みの人は省略可）

15. この研究会に入ることに際して、なにか不安を感じるようなこと、あるいは教員に伝えておきたいことはありますか。率直に、思うところを教えてください。（なければ、「ありません」でかまいません）

以上で課題はおしまいです。お疲れさまでした。PDF ファイルに変換した後、慶應のオンライン・シラバスにある提出先にファイルをアップロードしてください。